

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立槻田小学校】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	槻田小学校 6年生 92名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック競技でもある「トランポリン」を知り、見たり、体験したりすることで、トランポリンの楽しさを感じさせるようにする。また、「トランポリン」体験を通して、オリンピック競技に触れ、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めるようにする。
5 取組内容	(1) 事前の学習では、トランポリンなどの映像を見て、取組への理解を深める活動を行った。  トランポリンは、オリンピックの競技と知っていましたか。実際のオリンピックのトランポリン競技を見てみましょう。今度、体験しますよ。 (2) 「トランポリン体験」では、まず、トランポリンがどのような競技なのか、話を聞いた。  遊園地でトランポリンをしたことがある人いますか。競技で行う時は、このようなトランポリンを使います。実際の演技を見てみましょう。

(3) 講師による、デモンストレーションを見学し、活動への意欲を高めた。



あんなに高く跳べるんだ。宙返りやぐるぐる回ったりしてすごい！！
2人の動きがそろっていて、見ていて楽しい！！やってみたいな。

(4) 実際にトランポリンを体験した
①基本の動き

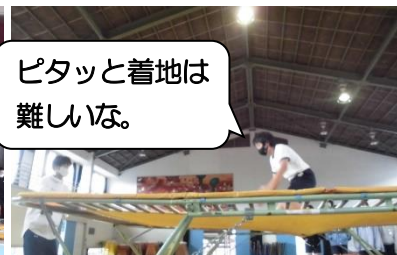


跳ぶときは、しっかりと膝を曲げてジャンプします。腕を回すとより高く跳べます。
止まるときは、膝を曲げて、着地すると止まることができます。

よく跳ねる！！
こんなに跳ねるんだ。



ピタッと着地は難しいな。



②正座からジャンプ

正座の状態からでも立てます！！



正座からは難しいな！！



③長座体の状態からジャンプ

膝を伸ばしても、よく跳ねますよ！！



膝を伸ばした状態から、ジャンプ！！



④今までの練習の成果を生かして、ジャンプ

高く跳べるようになったよ。



ピタッと着地できた！！



	⑤一般施設でトランポリンを楽しむときの注意点を教わった。  人が着地するとき、自分は跳ねるから注意しよう。  こんなに跳ねるから、気を付けないと危険だね。 (5) 事後の指導では、勉強になったことやこれからの学習に生かしたいことを感想にまとめた。 ○今日、初めてトランポリンの本物をしてみて、バランスをとるのが難しかったけど、とても楽しくて面白かった。今後はトランポリンのように高い目標をもっていきたいです。 ○思ったよりも跳ねて怖かったです。オリンピック選手は7～8mも跳ぶのですごいと思いました。普段はあまりしないすごくよい体験になりました。 ○トランポリン体験を通して、トランポリンの競技に興味をもったので、調べてみたいです。 ○トランポリンで2人以上跳ぶ時の注意事項など、役に立つことも言ってくださいました。する機会があれば、気を付けて楽しみたいです。 (6) 外国語科でオリンピック・パラリンピックを含めた、スポーツ選手のことを発表した。   外国語の授業でスポーツ選手のことを発表する児童の様子
6主な成果	子どもたちにオリンピックやトランポリンへの理解を深めるとともに、運動することの楽しさ、友達と一緒に活動するよさを学ぶことができた。また、外国語の学習ではオリンピックのスポーツなどを紹介する発表をする児童がいた。スポーツに対する興味・関心を高めることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	事前に、「トランポリン」の演技の映像を視聴し、トランポリンに対するイメージをもたせた。 北九州市内にある「トランポリン協会」を通じて、トランポリン体験を依頼することで、自分が住んでいる市内にあるオリンピックの関係機関に興味をもたせた。 外国語科の学習で、オリンピックを含めたスポーツを題材に取り上げて学習をすることで、横断的にスポーツへの興味・関心を高めた。
8主な課題等	トランポリンの台数や場所の広さなどの関係で、体験は1学年しかできなかった。次回は、1学年が体験をしている様子を他の学年が見学する時間を設けてもよいと感じた。
9来年度以降の実施予定	本実践を通して、子どもたちにオリンピックに対する理解と関心を深めることができた。来年度以降はスポーツや運動への興味・関心を高める取組を行っていく。取組の中で、高学年を中心に本実践を取り入れ、本物に触れたり、体験したりできる機会としていく。